

水の汚れの循環

～ 生きものの汚れは、適度な量であれば、自然の力で分解され、循環します～

水中の有機物(生き物から出る汚れ)は、バクテリアなどの働きによって、水・二酸化炭素と、チッ素・リンなどの栄養分に分解されます。

水中に有機物(汚れ)が多過ぎると魚が死ぬのは、有機物が分解されるときに大量の酸素が使われ、水が酸欠となるためです。

分解されてできたアンモニウムは、さらに酸化されて、亜硝酸、硝酸へと形を変えていきます。パケットテストでは、それぞれに含まれるチッ素の量を測ります。

アンモニウムが亜硝酸、硝酸に変化するときに、水中の酸素が使われ、水はさらに酸欠になります。

